

審査の仕方について

今日は7つのプロジェクトが発表します。実はその全てが来年度活動できるわけではありません。
来年度活動できるプロジェクトを審査するのはご来場のみなさまです。各プロジェクトの発表を聞いていただき、審査票に記入をお願いします！

審査のポイント

①市民やまちにとって 必要になりそうな企画か

社会で必要とする人がいそうかどうか、
またはシンボルプロジェクトの趣旨との
適合性を基準にしてください。

②企画内容が現実的なもの となっているか

実現可能性がありそうかどうか、または
実現に向けてしっかりと計画を立てられ
ているかどうかを基準にしてください。

③予算や財源の調達方法の見通し が立っている企画か

継続的に活動できるように予算の見積り
がしっかりと立てられているか、また活
動資金の調達に無理がないかなどを
基準にしてください。

④発表を聞いて、 ワクワクしたかどうか

これは面白そうだなと思ったかどうか、
応援したい！または一緒に取り組んでみ
たいな！と思えたかなどを基準に
してください。

発表プロジェクト紹介 ※番号は発表の順番です。



①シナジースタジアム

地域には面白い活動や人がたくさん存在していますが、点在していたり、表に出てこなかったり…
亀岡で活躍する人や団体が有機的につながることができれば、もっと面白い町になるんじゃないか？そんな思いから、人と団体がつながるネットワークづくりを検討しているチームです。



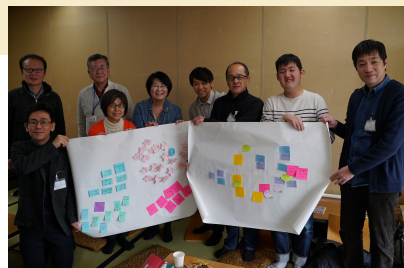
②奏（かなで）

亀岡にはたくさんイベントがありますが、単発のものも多く、イベント当日はワッと人が集まりますが、そのあとはさ～っと人がいなくなってしまう…。もっと日常的に楽しめるイベントが小さくてもいいので定期的にあつたらいいのに…そんな思いから食と音楽を掛け合わせた festival で賑わいを作ろうと検討しているチームです。



③Yado Plan

スタジアムができることでサポーターや観光客など亀岡市内外からもたくさん人が来ることが予想されます。でも日帰りだと、亀岡の良さはなかなか伝わらない…。単なる宿泊所ではなく地域にある資源を使って何かできることがあるのでは？そんな思いからサポーターも観光客もゆっくり泊まれて亀岡を楽しんでもらえる仕組みを考えているチームです。



④まちライブラリー

亀岡をもっと愛着を持てるまちにしたい！
そんな思いから、一過性のものではなく、継続的に市民の交流の場が必要なのではないかと考え、関西を中心に少しずつ広がってきている「まちライブラリー」を亀岡でも作ることで、本を通じた市民同士の交流を生み出していきたいと考えているチームです。



⑤子どもがいきる亀岡

ふるさと教育の充実によって地元亀岡が大好きな子どもを地域全体で育てたい！そんな思いから立ち上げられたプロジェクトです。
約30年後、市民の半数以上が高齢者になると予想されている亀岡。地域の大人が力を合わせて地域の子どもの育てることで若者が亀岡に「住み続けたい」と思えるきっかけづくりはもちろん地域コミュニティの再形成、仕事と子育てを両立するお父さんお母さんの支援もしていきたいと考えているチームです。



⑥タートル X

スタジアムや保津川公園が整備されることを契機に、もっとスポーツが身近になるような仕組みが必要だと考え、観光にもなる新しいランニングロードの開発と自分たちで競技を創って遊ぶ新しいタイプの運動会を亀岡に根付かせたいと考えているチームです。



⑦Team Do It!!!

地域のコミュニティが希薄になってしまっている昨今。
人と人との緩やかにつながり、顔の見える関係性を構築していきたいという思いから、サッカーに興味あるなしに関わらず、地元の人たちがサンガカラーである「紫色」を通じてコミュニティを形成していき、緩やかなつながりのある活気あふれる町にしたいと考えているチームです。

審査結果について

作成いただきました審査票を、企画発表会終了時に事務局（亀岡市企画調整課）で回収し、後日、市のホームページ等で、審査結果を公表します。なお、それぞれの方に作成いただいた審査票は公表しません。
また、審査結果の公表時にも、誰がどのような審査をされたかは伏せて公表します。
（各グループが獲得された得点総数のみを公表します）。